

防災学習事例 ～何気ない普通の授業に防災を取り入れよう～

【小学部 5年】

日時	1 2月
教科・単元名	国語「自分とお家の人の名前を言おう」
学習のねらい	・教師の「〇〇の名前は何ですか？」の問いに対して、「〇〇です。」と自分と家族の名前を答えることができる。
学習内容	○写真を見て、「この人は誰ですか？」という教師の問いに答える。 ○自分の名前を答えることに慣れてきたら、母親・父親・兄と家族の名前を答える学習をする。
防災ワード	・自分と家族の名前を言おう（災害時に自分や家族の名前を聞かれたときに答える）
児童生徒の様子	<p>○学習当初は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 〇〇の写真を見せ「〇〇の名前は何ですか？」と教師が問う。 ② 「わたしは、□です。」「おかあさんは、□です。」の□の部分に写真と名前を記したカードを置き、見ながら答える。 <p>の流れで学習を進めた。練習を重ねるうちに、スムーズに言えるようになったが、「わたしは、□です。」のようなカードを置くと、「わ」「た」のように逐次読みをするので、ある程度、文の形が定着したら、カードは見せずに受け答えの練習をするようにした。</p> <p>○児童の様子を見ながら、変更した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童本人や母親等の写真を見せながら、「〇〇の名前は何ですか？」と尋ね、誰について尋ねられているかを理解できるようにした。慣れてくると、写真は見せずに「お母さん」「お父さん」等の言葉のみでも、正しく名前を答えることができるようになった。 ・「わたしは、□です。」という文型で答える練習を続けたが、「私は」「お母さんは」の主語の部分の言葉が出にくかったので、「□です」の形で答えるように変更した。災害時等に、自分や家族の名前を答えることができるようになってほしいという願いで取り組んだので、名前を正しく答えることを重視した。 <p>○担当教師とはスムーズに応答できるようになったので、いろいろな教師から尋ねられても答えることができるように練習を続けている。</p>